

「全鍍連」 2025年 5月号 組合員の広場

三重県鍍金工業組合 大笹 暢 (株)オーエスケーアイ 取締役会長)

「超高齢化社会に向けて思うこと」

今年の冬は2月に記録的な寒波が2度もやってきて体調の維持管理が大変な冬でしたが、皆さん体調の方は如何でしたでしょうか。

昨年は年初から能登半島地震から始まり、本年は大船渡山林火災など次から次へと災害等がおこりました。

このような状況下での景況はあまりいいとは言えない状況です。

物価問題、為替問題、紛争問題等、様々な問題がありますが、とりわけアメリカのトランプ大統領の関税問題が今後の景気に影響を与えそうです。

現状、弊社はコロナのパンデミックが落ち着きを見せたころから、少ないながら、ある程度は安定した受注量がありましたが、自動車関連が90%以上を占めている為、関税の影響による受注量の変動が非常に気になります。

また、昨年は2024年問題として自動車運転業務を対象に時間外労働の上限規制が設けられ、一人ひとりの労働時間が短くなることにより、輸送費コストに影響がありました。

コストの上昇分は客先に要求したいところですが、中々難しいのが現状です。

我々を取り巻く環境は非常に厳しいといえるでしょう。

また、2025年問題として、いわゆる「団塊世代」800万人が75歳以上、つまり後期高齢者となります。75歳以上が国民全体の17.8%、超高齢化時代の始まりです。社会的な影響として「労働人口の減少」などがあげられます。

特に製造業にとっては人手不足が深刻な問題となりえるでしょう。

我々はこういった問題を抱えて事業の継続を進めなければなりません。

解消策としては、一つ目は働きやすい環境作りを行い社員の定着率の向上と優秀な人材確保につなげる。二つ目は外部リソースを使い専門分野のアウトソーシング化を進める。三つ目はDX化を推し進め既存業務の効率化をして社員の負担軽減や人材不足のカバーを行う。

特にDX化はビジネスモデルや組織に変化を起こし、市場での競争優位性を確立することができる為、有意義な方法と言えます。

ただ、言葉では簡単ですが、実際に行うにはいろんな問題が生じるはずで。

より高齢化が進む中、場当たり的に行動するより、同業他社の成功事例等を踏まえて長期的に戦略を立て進めていけば成功に一步近づけると思います。

厳しい環境ですが、みなさんと協力してこの難局を乗り越えていきたいと思っております。